

連携強化

殿町地区「キングスカイフロント」

空港跡地第1ゾーン「産業交流施設」

京浜臨海部

空港跡地第2ゾーン

羽田空港周辺

羽田空港

—第1回—

羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会

平成26年9月8日（月）

川崎市

東京圏と神奈川・川崎の強み

東京圏の強み

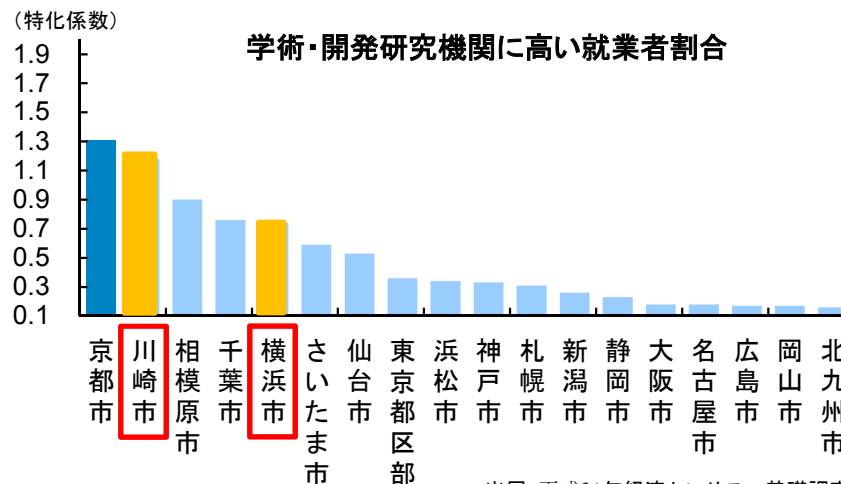
- 羽田空港を核とする航空ネットワークのハブ
- 首都圏3,700万人の膨大な人口
- 経済、金融の中心地
- 道路、鉄道の交通ネットワークの要に位置
- 京浜港の連携

神奈川・川崎の強み

- 先端研究人材の集積
- ライフサイエンス分野のグローバル企業が立地
* 東芝、味の素、ジョンソン・エンド・ジョンソン、
武田薬品工業、富士フィルム等
- 国立医薬品食品衛生研究所、横浜市大、理化学研究所等の最先端研究機関が立地
- 太陽光、風力、バイオマス、多様なエネルギー供給拠点

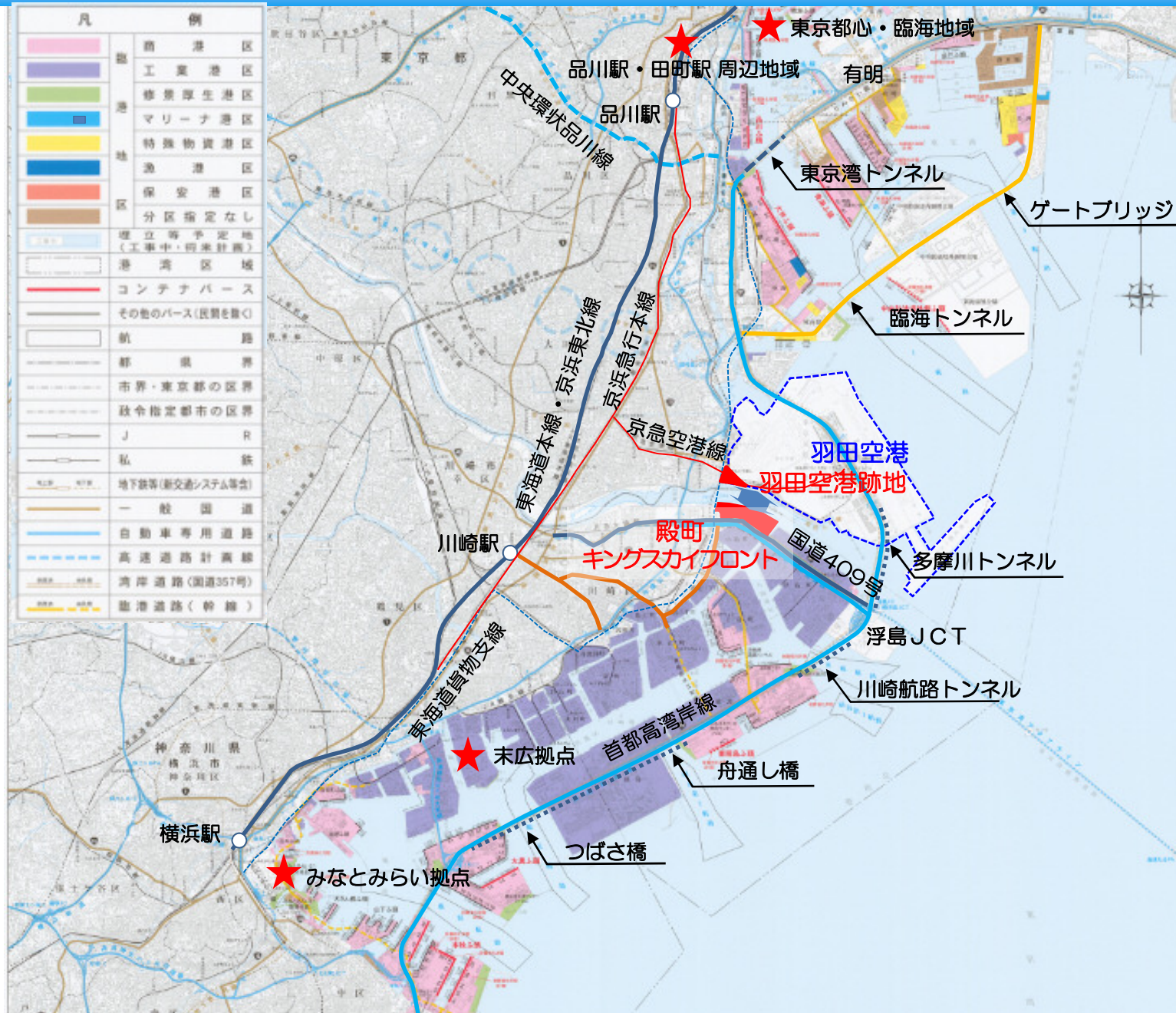
3つの特区指定

- 国家戦略特区
- 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区
- さがみロボット産業特区



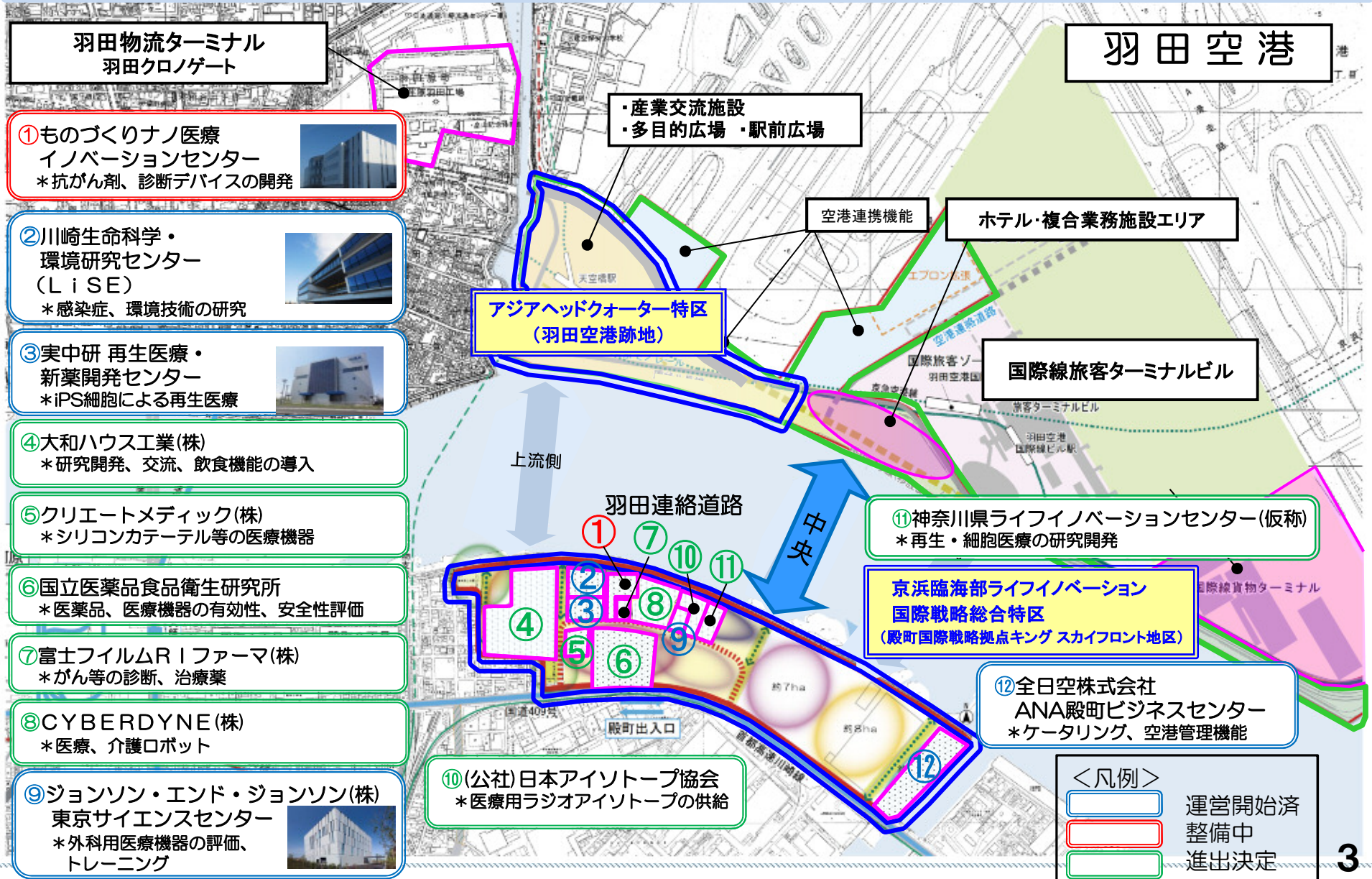
首都圏の金融、産業、高度人材などの集積を生かした
イノベーションの創出による成長戦略の推進

羽田空港を中心とする戦略拠点



川崎 殿町 KING SKYFRONT

ライフノベーションを牽引する産学官のプレイヤーが次々進出



羽田物流ターミナル
羽田クロノゲート

羽田空港

①ものづくりナノ医療
イノベーションセンター
*抗がん剤、診断デバイスの開発

・産業交流施設
・多目的広場・駅前広場

②川崎生命科学・
環境研究センター
(LiSE)
*感染症、環境技術の研究

アジアヘッドクォーター特区
(羽田空港跡地)

空港連携機能
ホテル・複合業務施設エリア

③実中研 再生医療・
新薬開発センター
*iPS細胞による再生医療

国際線旅客ターミナルビル

④大和ハウス工業(株)
*研究開発、交流、飲食機能の導入

上流側

⑤クリエートメディック(株)
*シリコンカテーテル等の医療機器

羽田連絡道路

⑪神奈川県ライフノベーションセンター(仮称)
*再生・細胞医療の研究開発

⑥国立医薬品食品衛生研究所
*医薬品、医療機器の有効性、安全性評価

京浜臨海部ライフノベーション
国際戦略総合特区
(殿町国際戦略拠点キングスカイフロント地区)

⑦富士フィルムR1ファーマ(株)
*がん等の診断、治療薬

⑧CYBERDYNE(株)
*医療、介護ロボット

⑫全日空株式会社
ANA殿町ビジネスセンター
*ケータリング、空港管理機能

⑨ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
東京サイエンスセンター
*外科用医療機器の評価、
トレーニング

⑩(公社)日本アイソトープ協会
*医療用ラジオアイソトープの供給

<凡例>
 運営開始済
 整備中
 進出決定

羽田空港との近接性を生かした拠点機能

ANA 殿町ビジネスセンター



- 3棟(管理、エネルギー、ケータリング)で構成
- 機内食の製造・配送(1日1万2千食以上調理可能)
- 管理棟は、ANAグループの空港支援施設

- 国際線機内食を配送する専用車が、往路は高速道路、復路は一般道路で殿町ー空港間を毎日130往復
- ANA従業員用バスが、殿町ー空港間を毎日34往復

ジョンソン・エンド・ジョンソン 東京サイエンスセンター



- ジョンソン・エンド・ジョンソンの東アジアの拠点
- 国内企業の画像診断装置を導入し、国内企業と連携した医師等の研修を実施
- 医療機器の評価・開発

- 低侵襲の外科手術シミュレーション装置等を備えた医療従事者向けトレーニング及び機器の評価・開発
- 年間11,000人を超える空港利用者を見込む

実中研 再生医療・新薬開発センター



- ヒト化マウスの開発、遺伝子改変マウスモデルの開発等
- iPS細胞を使った再生医療による脊髄損傷の治療モデル確立や、アルツハイマー治療等に必要の実験モデルの研究開発

- 最先端研究機関として、海外の研究者等との共同研究を実施。アジアからは日帰りで研究者が来所
- 海外から多数の研究者が共同研究等で来訪
- 実中研からも多くの研究者を派遣

(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター(iCoN)



- ナノ技術を活用した医薬品、診断・治療機器、再生医療の社会実装
- 京浜臨海部のものづくり企業群、羽田空港との近接性や特区制度を活用し、ナノ医療技術の国内外ネットワークのハブを構築

- 国内・海外の産学官が、一つ屋根の下で異文化融合による革新的課題の研究開発を推進
- オープンイノベーションで海外連携を加速

羽田空港を中心としたライフサイエンス関連産業の集積



大田区
ものづくり、医療関連産業群

- ①羽田空港跡地「産業交流施設」
- ②東邦大学医学部、医療センター大森病院
- ③テクノFRONT森ヶ崎
- ④イービーエム(株)
* ジョンソン・エンド・ジョンソンのトレーニング機器を開発
- ⑤大田区産業プラザP i o
- ⑥オオタ・イノベーションラボ
- ⑦羽田クロノゲート * 医療機器のメンテナンス ほか

医療機器分野における
相互補完と相乗効果を創出

空港跡地

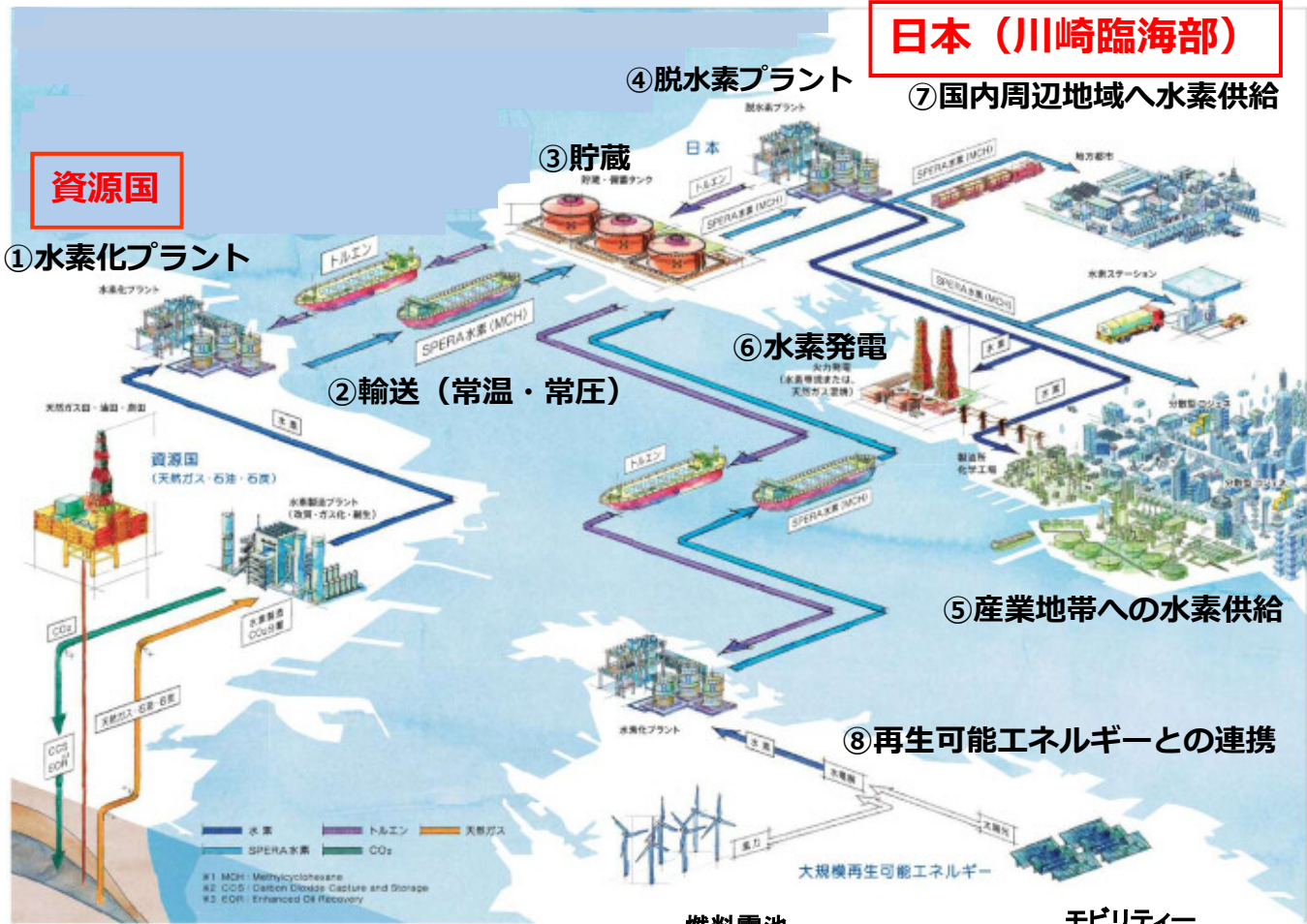
殿町拠点

川崎 殿町
KING SKYFRONT

- ①実中研 再生医療・新薬開発センター
- ②川崎生命科学・環境研究センター(L i SE)
- ③ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 東京サイエンスセンター
* イービーエム社の外科手術トレーニング用医療機器を活用
- ④ものづくりナノ医療イノベーションセンター(iCON)
* 抗がん剤、診断デバイス
- ⑤国立医薬品食品衛生研究所
* 医薬品・医療機器のレギュラトリーサイエンス
- ⑥ライフイノベーションセンター(仮称) * 再生・細胞医療
- ⑦クリエートメディック(株) * カテーテル等の医療機器
- ⑧CYBERDYNE(サイバーダイン)(株) * 医療・介護ロボット
- ⑨全日本空輸殿町ビジネスセンター
* ケータリング機能、空港管理機能
- ⑩コビディエン ジャパン(株)
アドバンスドトレーニングセンター川崎 ほか

羽田空港周辺を水素社会のモデルタウンに

日本（川崎臨海部）



水素エネルギーをオリンピック、民生利用へ展開

輸送

- 業務用車両 (燃料電池バス)
- 水素燃料船 燃料電池船
- 提供・鉄道総研 燃料電池鉄道車両
- 水素ジェット飛行機 燃料電池飛行機

発電

水素発電 業務・産業用燃料電池

民生用

ポータブル燃料電池

宇宙

ロケット燃料

工業プロセス利用

光ファイバー製造

燃料電池

家庭用燃料電池

モビリティ

燃料電池自動車 (FCV)

各種補助電源

冷凍トラック 特殊車両 等

現在 → 実用化段階 → 将来 →

連携強化による相乗効果（羽田空港周辺）

①産業の連携（医工連携など）

－目的（特徴を活かす）－

- イノベーションの創出
- 新市場・新技術・新事業・新商品などの創出
- 相互補完による相乗効果を発揮
- 医療・環境など世界的産業クラスターの形成

②拠点形成における機能分担

－目的（世界的な戦略拠点を形成）－

- 効果的・効率的な連携で一体的な拠点を形成
- 有機的な連携で拠点機能を向上
- 新事業などの創出環境を整備
- 機能分担により導入機能の拡充

③連携を支えるインフラの整備

－目的（拠点の利便性・価値の向上）－

- 拠点性・利便性を高める
- 様々な連携を支える
- 一体性を高める
- エリアの価値を高める

- 世界的イノベーションの戦略拠点形成
- 羽田空港を中心としたエリアの価値向上
- 東京圏（国家戦略特区）の価値・効果の向上の一翼

国際競争力の強化

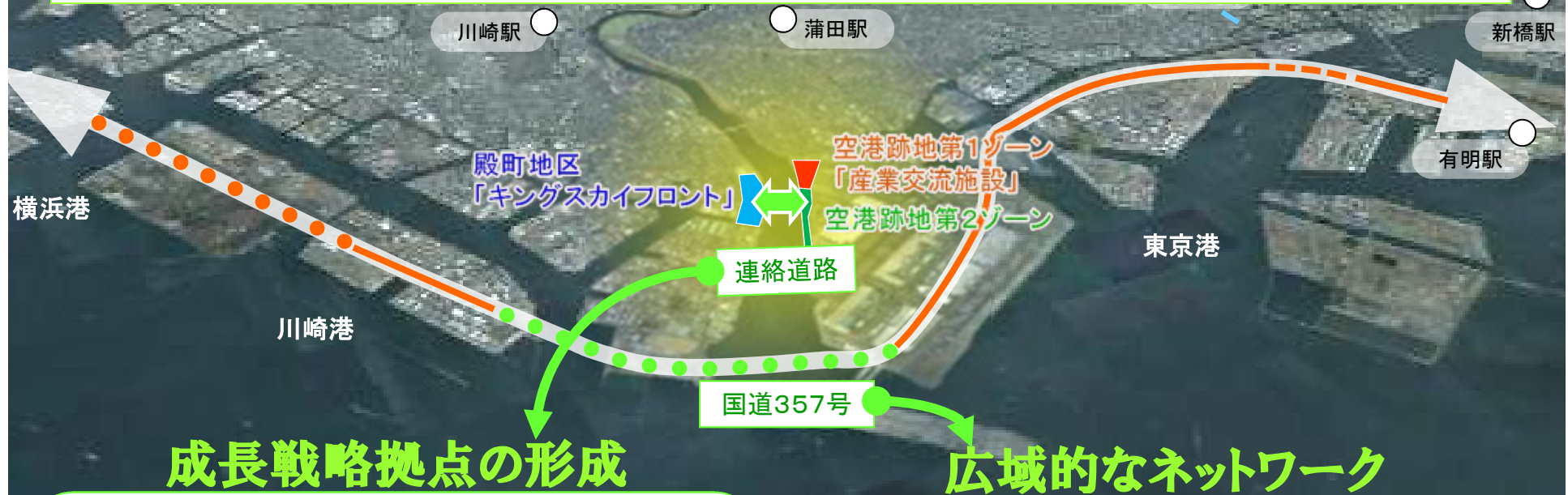
羽田空港を中心としたインフラ整備

～首都圏の骨格を形成する主な事業～



連携強化を支える「2つの道路インフラ」

相乗効果を高めるには「成長戦略拠点形成」と「広域的なネットワーク」の視点が必要



成長戦略拠点の形成

【連絡道路】

■世界的な成長戦略拠点形成を支えるインフラ

東京圏の重要なエリアである川崎市殿町地区と羽田空港跡地の連携を強化し、当該エリアの機能・価値・魅力を高め国際競争力の強化を支える。

ーポイントー

- 1) 羽田空港を中心とした一体的なまちづくりによる成長戦略拠点形成の推進
- 2) 当エリアの土地利用の計画と進捗を踏まえた取組
- 3) 広域的なネットワークとの連携
- 4) 防災力の向上、地域自動車交通流の円滑化

広域的なネットワーク

【国道357号】

■首都圏の国際競争力強化に資する広域的なネットワークを支えるインフラ

羽田空港周辺及び京浜臨海部の広域性を強化し、国際競争力の強化を支える。

ーポイントー

- 1) 広域的なネットワークの形成
 - 羽田空港周辺地区・京浜臨海部への広域的なアクセス性を向上
 - 物流の効率化
- 2) 事業推進に向けた取組方策

羽田空港を核とした一体的な成長戦略拠点形成

